

ドラッカー「5つの質問」

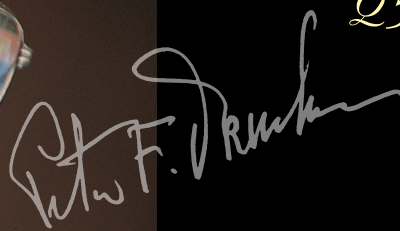
Q1.われわれの使命(事業)は何か?

Q2.われわれの顧客は誰か?

Q3.顧客にとっての価値は何か?

Q4.われわれにとっての成果は何か?

Q5.われわれの計画は何か?



—— 貴社に伺います ——

出張研修

ドラッカー
公認

ドラッカー塾[®]

「ドラッカー塾」は“知の巨人”“マネジメントの父”とも称される
ピーター・F・ドラッカー教授の卓抜した独自の理論に基づき、
経営者、幹部、マネジャー、次世代リーダーに必須の
マネジメントの基本と原則を体系的に学び、考え、実践する研修です。

経営幹部対象

エグゼクティブコース

マネジャー・幹部候補生対象

マネジメント基本コース

講師

今成 淳 (いまなり・じゅんいち)

アイオー総合研究所 所長

1959年生まれ。経営コンサルティング歴25年。電子部品メーカー勤務後、企業におけるマネジメントのノウハウを修得するために大手コンサルティング会社に転職、後に独立。「よい会社づくり、の大切さを訴求しながら、その考えを経営に取り入れること」をモットーに、ドラッカー・マネジメントを学ぶ研修を主体に取り組んでいる。

Peter F. Drucker

1909年11月19日、オーストリアのウィーンに生まれる。「民営化」「知識労働者(ナレッジワーカー)」「目標による管理」をはじめ、現代のマネジメント思想において、教授が創り出した概念や用語は少なくない。米国クレアモント大学院で社会科学とマネジメント理論を教えるかたわら、経営コンサルタントとして活動。IBM やGE に代表される世界的大企業のみならず、政府、協会、病院、大学、MLB 球団などが抱えるさまざまな経営問題に半世紀以上にわたり取り組む。教授の専門領域は政治や歴史、哲学、文学、美術など多方面に及び、各分野に多大な影響を与える。なかでも、生涯を通じての最大の関心事は「社会的存在としての人間の自由と平等」であり、そのために社会、企業、組織はどうあるべきか、個人は何をなすべきか問い続けた。著書は『現代の経営』『経営者の条件』『断絶の時代』『マネジメント』(いずれも弊社刊)など多数。2005年11月11日、96歳の誕生日を目前にして永眠。

主催：ダイヤモンド社

研修の狙い

- 1 トップマネジメント・チームの一員としての役割・責任を認識する
- 2 ドラッカー「5つの質問」を理解・習得し、トップと共に組織の成長基盤を作り上げる
- 3 使命の実現に向け、組織全体をリードするエグゼクティブとなる

ドラッカー「5つの質問」に基づき、企業と組織、事業のイノベーションを実践する講座です。「集合研修」「現場での実践」「eラーニング」を組み合わせ、真のエグゼクティブとは何か、経営幹部の一員として何をなすべきかを明らかにし、「マネジメントは経営者一人で行うものではなく、マネジメントチームで行うもの」であることが証明されるでしょう。

研修プログラム 全6回

(各回10:00～17:00)

- 第1回 トップマネジメント・チームの重要性
- 第2回 われわれの使命(事業)は何か
- 第3回 われわれの顧客は誰か、顧客にとっての価値は何か
- 第4回 われわれにとっての成果は何か
- 第5回 われわれの計画は何か
- 第6回 イノベーションで成功するには

講座の進め方

〈講座参加前〉

◎講座テーマに関して事前に自分の考えをまとめる

〈講座当日〉

◎1ヵ月間の実践を振り返る(リフレクション)

◎講座テーマに関してマネジメントの基本と原則を理解する(講義)

◎講義内容、ドラッカーの「問い」をもとに自社について熟考する(演習)

◎各自が熟考した内容をもとに徹底したディスカッション・相互アドバイスをを行う(グループ討議)

〈研修参加後〉

◎講座で学んだことを整理する(学習レポート作成)

◎学んだことを仕事上で実践する

◎eラーニングによる自主学習

e ラーニング

「P.F.ドラッカー・マネジメント講座」

- コース1 自らをマネジメントする
- コース2 人を活かす人事の意思決定
- コース3 上司をマネジメントする
- コース4 成果を生む意思決定
- コース5 知識労働者の生産性
- コース6 企業買収戦略
- コース7 アライアンス
- コース8 ビジネスにおける5つの過ち
- コース9 永続のコスト管理
- コース10 起業・新事業戦略

受講料 1名693,000円(税込)
(教材費、eラーニング代込み)

研修の狙い

- 1 ナレッジワーカーとしての生産性を高める
- 2 仕事の廃棄とグループワークについて学ぶ
- 3 効果的な意思決定とそのステップを理解し実践する

業務の生産性を向上するためのマネジメントスキルを実践的にトレーニングするプログラムです。研修期間は3ヵ月、計3回のクラスルーム講義とeラーニングによる自己啓発、さらに徹底したディスカッションとグループ学習を中心とした設計になっています。ドラッカー教授が提唱するマネジメント理論に基づいた、経営に必須のリーダーシップ、コミュニケーションスキル、そして意思決定能力の向上を目指します。

研修プログラム 全3回

(各回10:00～17:00)

- 第1回 強みによる貢献
——目標設定と時間管理
課題／成果が上がらない仕事を破棄する
- 第2回 リーダーシップとチームワーク
課題／貢献すべき仕事に集中する
- 第3回 成果と意思決定
課題／仕事に学習を組み込む

講座の進め方

〈講座参加前〉

◎講座テーマに関して事前に自分の考えをまとめる

〈講座当日〉

◎講座テーマに関してマネジメントの基本と原則を理解する(講義)

◎講義内容、ドラッカーの「問い」をもとに各自の仕事について熟考する(演習)

◎各自が熟考した内容をもとに徹底したディスカッション・相互アドバイスをを行う(グループ討議)

〈研修参加後〉

◎講座で学んだことを整理する(学習レポート作成)

◎学んだことを仕事上で実践する

◎eラーニングによる自主学習

e ラーニング

「プロフェッショナルのための自己改革」

- コース1 自らをマネジメントする
- コース2 人を活かす人事の意思決定
- コース3 上司をマネジメントする
- コース4 成果を生む意思決定
- コース5 知識労働者の生産性

受講料 1名198,000円(税込)
(教材費、eラーニング代込み)

※いずれも遠方の場合には講師の諸経費(交通費、宿泊費等)を別途ご請求させていただく可能性がございます。